

県出身選手に歓声

ハンドボール 日本リーグ

日本ハンドボールリーグ富山大会は27日、氷見市ふれあいスポーツセンターで男子のトヨタ自動車 大同特殊鋼、湧永製薬 トヨタ車体の2試合を行い、941人が一流選手の迫力あるプレーを堪能した。北日本新聞社後援。

リーグ上位対決の湧永製薬 トヨタ車体戦は、両チーム

| | |
|------|--------|
| ▽男子 | トヨタ白 |
| 大同特殊 | 39 |
| 鋼 | (2019) |
| 4勝 | 14 |
| 湧永製薬 | 23 |
| トヨタ車 | 1 |
| 1勝 | 3 |
| トヨタ車 | 2 |
| 2勝 | 2 |
| 2勝 | 2 |
| 3勝 | 1 |
| 1分 | 29 |
| | (1217) |
| | 1117 |
| | 28 |

とも堅守からの速攻や絶妙なコンビネーションプレーが相次ぎ、1点を争う好ゲームとなった。試合終了間際に、1点を追うトヨタがGKも攻撃参加する「7人攻撃」を仕掛けたが、シュートが外れ、28-29で敗れた。大同特殊鋼 トヨタ自動車戦は、39-23で大同が勝利した。

県関係者は、トヨタ自動車の福田拓馬(高岡向陵高出)、湧永製薬の吉田尚寛(同)、トヨタ自動車の田中勝(同)が出場。福田は4得点、田中は3得点を挙げた。3選手に、高岡向陵高のハンドボール部



湧永製薬 トヨタ車体 シュートを放つトヨタ車体の門山(中央) 氷見市ふれあいスポーツセンター

員から花束が贈られた。会場で、NPO法人「富山スポーツコミュニケーションズ」がレシーバー機器を使った試合解説のサービスを行い、県ハンドボール協会の役員が分かりやすくルールや見